



令和3年9月10日

令和3年度大学教育再生戦略推進費 「知識集約型社会を支える人材育成事業」 メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」の選定結果について

令和3年度大学教育再生戦略推進費「知識集約型社会を支える人材育成事業」メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」について、独立行政法人日本学術振興会において運営される「知識集約型社会を支える人材育成事業委員会」の審査を踏まえ、本年度の採択事業を決定しました。

1. 事業の目的

本事業メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」では、授業科目の精選・統合を進め、学生が同時に履修する授業科目数の絞り込みを行うとともに、授業科目を週複数日実施し、質と密度の高い学修の実現を目的としています。

2. 審査状況

令和3年4月14日付けで各国公私立大学長宛てに公募を行い、6月14日から18日に各大学から6件の申請を受け付けた後、「知識集約型社会を支える人材育成事業委員会」における審査を踏まえ、このたび別紙のとおり3件の事業が選定されました。

(お問合せ先)

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室

室長補佐

早川 慶

専門職

甲山 宏行

電話：03-5253-4111（内線 3356）

独立行政法人日本学術振興会人材育成事業部大学連携課

課長

遠藤 章憲

課長代理

田中 麻衣

電話：03-3263-1757（直通）

**令和3年度「知識集約型社会を支える人材育成事業」
メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」申請・採択状況**

【申請・採択の状況】

○申請状況

申請区分		メニューⅢ (インテンシブ教育プログラム)	合計
大 学	国立	1	1
	公立	0	0
	私立	5	5
	小計	6	6

○採択状況

申請区分		メニューⅢ (インテンシブ教育プログラム)	合計
大 学	国立	1	1
	公立	0	0
	私立	2	2
	小計	3	3

【採択校一覧】

○メニューⅢ：インテンシブ教育プログラム

連番	大学名	事業名称
1	千葉大学	インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開
2	早稲田大学	ソーシャルイノベーション・アクセラレートプログラム
3	名古屋商科大学	ケースメソッドを補完するフィールドメソッドを活用した学外連携型の教育システムとアントレプレナーの養成